

平成22年5月21日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬



記

事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。 H20年度からパトロールを開始することになった。
事業実施後の状況	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。(平成21年1月以降) 平成20年度につづき、継続して実施できた。(ボランティアも増加)
事業の効果	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。
今後の課題	都合で参加できなくなった人の代わりは確保できたが、ボランティア人員の確保・増員(現状13名)が必要。 パトロール実施をもっと目立たせるよう工夫(帽子など)が必要。 22年度事業で帽子を手配することにした。(市統一の帽子)

平成22年5月21日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名

高木 正彬



記

事業の名称	水路転落防止柵設置事業
事業実施前の状況	農業用水路に転落防止柵がない箇所が多い。 (PTAアンケート調査でも指摘)
事業実施後の状況	平成20年度申請で未実施個所のうち5か所の防護柵設置が完了
事業の効果	実施した7か所(平成20年度からの累計7か所)については水路等への転落の危険は減少した。
今後の課題	校区内の危険箇所が多くあり、次年度以降優先度を考慮して継続実施することが必要。 21年度持ち越し案件の実施が必要。 水利組合・隣接地所有者等との事前調整が必要。

平成22年5月21日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬 

記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。 (放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘) 平成20年度要望のうち、予算の関係で21年度に繰り越したものがあつた。
事業実施後の状況	20年度に町会・自治会から要望のあつたうち、21年度に繰り越した42件を中心に街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。 (新設12件、照度アップ30件)
事業の効果	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果が出ていると思われる。
今後の課題	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。 (22年度も引き続き広報誌等でPR予定) 農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。